



新春に贈る言葉

新しい年、2012年の幕開けです。あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。さて、毎年、元旦の新聞には、会社・企業が工夫を凝らしたメッセージを掲載しています。今年も、「幸せ」や「未来」などの言葉がたくさん見受けられました。その中からいくつかを紹介します。

ちょっとうれしいって、すごくしあわせ。 KAO

今日は始まりの、ちょっと特別な日。でも、すぐにあたり前の毎日になってあわただしく過ぎて。泣いたり、怒ったりもするけど、ふと笑みがこぼれるとき、ちょっとしたことに、しあわせだなあって感じるんですよね。毎日のささやかな喜びを大切にしたい。毎日生まれる、ちいさなうれしさは、次に向かうところを、やさしく、強く変えてくれると信じているから。いちにち、一日に。ひとり、一人に。たくさんのうれしいが生まれて、いっぱいあふれますように。さあ、2012年のスタートです。

私たちは、もういちど「幸せ」について考えました。 積水ハウス

ひとは誰でも「幸せ」を求めつづける、その日々の中で、私たちはあらためて、振り返り、考える体験をしました。「なにと、なにと、なにと」の足し算ではなく、引き算して最後にのこる「幸せ」の答えはなんだろう。多くのひとが「家族」や「ひとの絆」と答えをいいました。

はじまりは、いつも、チャンスだ。 教研出版

今日から、少しずつはじめよう。はじまりは、ゼロで、まっ白。だから、どんどん吸い込んでいけるんだ。ゆっくりでもいい。少しずつまわりはじめた歯車は、大きく、力強く、まわり続ける。うまくいかなくてもいい。迷ったら、戻りながら、確かめる。同じ間違いを、二度と繰り返さなくなる。全体を見わたせば、新しい方向が見えてくる。覚えたこと、そのままではなく、その意味を深く理解して、自分なりに考え、答えを出す。自由に、工夫して、楽しみながら、自分で考える。わからなかったこと、できなかったことを、考えるチカラで、乗り越えていけるようになる。それは、人生だって豊かにできるチカラ。答えの用意されていない問題が、どんどん出てくる。それでも、どんどん乗り越えていける。

次は君だ。 PARCO

自分に壁をつくっているのは、意外と自分自身なのかもしれない。世界は想像以上に広くてオープンだ。人は背伸びをすることで、大きくなれる。飛び込もう、未知へ。勇気を持って。大人たちを刺激し、世の中を変えていく、マグマのような新しい力。それは希少な天才ではなく、壁を越えて踏み出す君自身なんだ。自分の手で未来を切り開く君を応援する。若者が元気な国は、未来も明るい。新しい時代を、君とつくる。

未来へ HITACHI

未来は待っているものではなく、つかまえに行くものです。希望は探すものではなく、つくり出すものです。私たちは顔を上げ、まなざしを先へ向けよう。

2学期の保護者評価の結果から

2学期の学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。下の2つの項目について、1学期と比較すると、「子どもを安心して預けられない」「詫間中学校を総合的に採点するとよくない」と回答された保護者の方が、それぞれ増加していることから、家庭や地域に信頼される学校づくりに課題があることがうかがえます。先生方も一致協力して全力で学習指導や生徒指導に取り組んでいますが、なかなか生徒の姿で答えが出せない現状です。この結果を真摯に受け止め、3学期もより一層努力してまいります。

